

平成25年2月21日

報道各位

島原半島文化賞運営委員会

事務局 島原市市長公室

文化・スポーツ振興グループ

平成25年 島原半島文化賞受賞者の決定について

標記のことについて、2月21日の審査会の結果、下記のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

### 1. 平成25年受賞者

個人 ふくだはちろう 福田八郎 <南島原市>

団体 郷土史を学ぼう会 <島原市>

### 2. 授賞式

日時： 3月9日（土） 午前10時

場所： 島原城観光復興記念館

（第31回島原半島文化賞授賞式及び第32回康平忌）

### 3. 選考理由及び関係資料

別紙参照

### 4. その他

昭和58年から平成24年までに個人40件、団体19件が受賞

本件担当：  
島原半島文化賞運営委員会事務局  
島原市市長公室  
文化・スポーツ振興グループ 土橋  
TEL 0957-68-5474(直)

## 平成 25 年 島原半島文化賞受賞者

(敬称略)

### 【選考理由要旨】

#### 個人の部

○<sup>ふくだはちろう</sup>福田八郎（郷土史研究家） 南島原市 昭和9年10月6日（78歳）

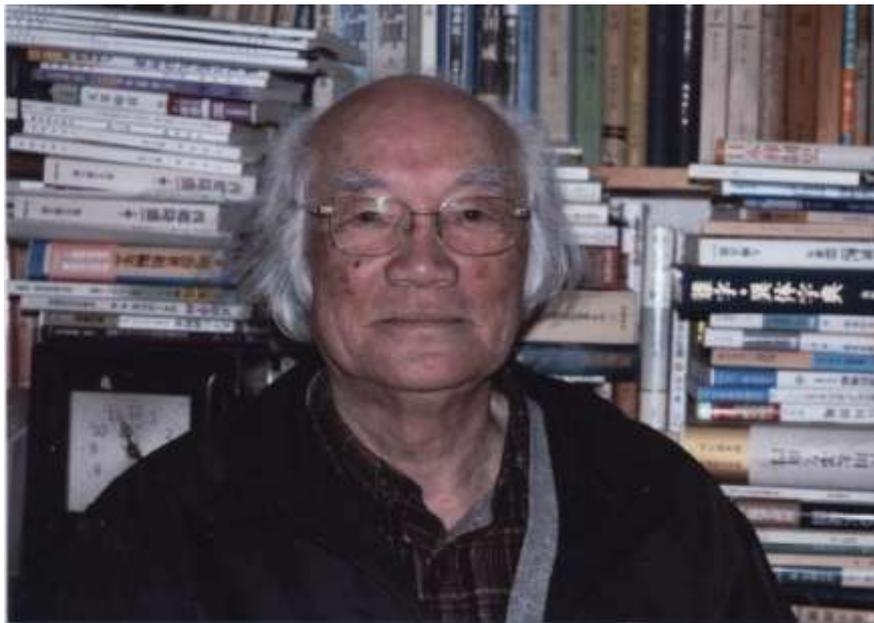
南島原市文化財保護審議会会長、同世界遺産市民協働会議委員

平成6年に退職するまで県立高校において国語教員として勤務、平成8年まで中国福建省泉州華僑大学日本文化科講師を務め、その退職後、本格的に郷土史研究を始める。

その深い学識により古文書の解読に精通し、現在まで8冊の著書出版をはじめ多数の論文を発表、新聞に寄稿したほか、県内各地で数十回に及ぶ講演活動を行うなど地域の歴史や文化を再発見する活動が顕著である。

また有家史談会コレジヨ講座の責任者として企画立案し、参加者多数を得るなど郷土史研究の裾野を広げている。

このように、長年にわたる地道で史実に即した研究に基づく著作の発表や講演活動を行い、島原半島の歴史をわかりやすく紹介し、島原半島の地域文化の振興に大きく寄与している。



福田八郎氏

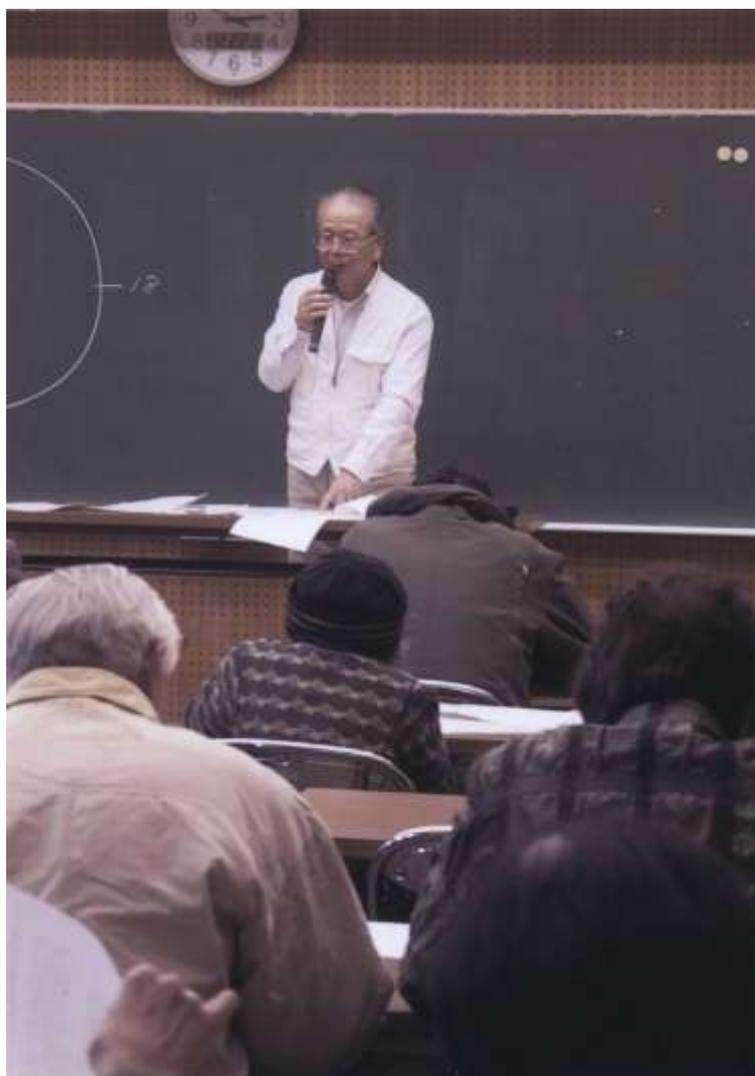
## 団体の部

### ○郷土史を学ぼう会 島原市 平成4年発足 代表：野村義文 会員 40名

島原図書館には全国的に有名な松平文庫が収蔵されており、このような郷土史料を用いて広く一般の方に郷土の歴史を知ってもらおうと、始められた。

発足以来、毎月1回、さまざまな講師による郷土史にまつわる講義と、松平文庫所蔵の藩主松平家の記録である「深溝世紀（ふこうずせいぎ）」の解読の2部構成で行われており、現在まで20年にわたり238回開催されている。

郷土の歴史を一般向けにわかりやすく紹介し、延べ参加者も1万人を超えるなど、島原半島の地域文化の向上に大きく寄与している。



郷土史を学ぼう会 講義中の模様